源 流　第１８５号　教育長　儘田　文雄

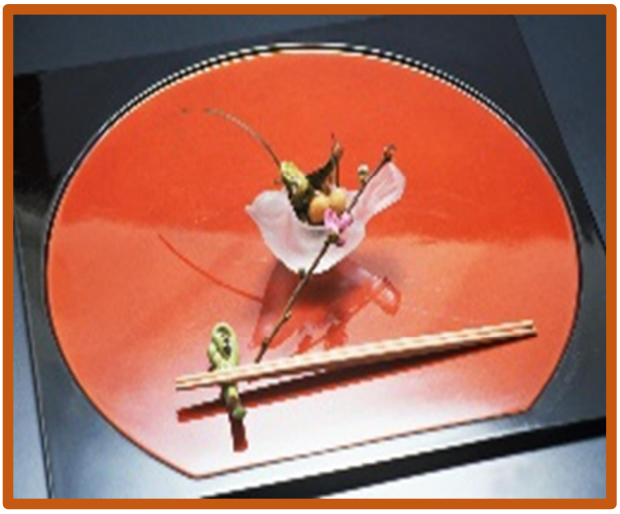
生き生きと働ける職場づくり ③

引用文献：「教職員のためのコミュニケーションガイドブック」（令和６年３月　東京都教育庁人事部）

尊敬できない先輩や上司

Q　尊敬できない先輩や上司はどのような人だと思いますか？

回答者：採用３年目までの小・中学校教員（4,182 名）



- ◆後輩・部下を指導するときに感情的（高圧的）になる　（46.1%）
- ◆相談しづらい雰囲気を常に出している　（44.5%）
- ◆人によって態度を変える　（43.5%）
- ◆後輩・部下の動きについて、指摘ばかりする　（28.8%）
- ◆他の人（児童・生徒、保護者、教員等）がいる前で，後輩・部下の指導をする　（26.9%）
- ◆後輩・部下への指導内容が的確ではない　（25.9%）

【ワンポイントアドバイス　－傾 聴－】

傾聴とは、相手の気持ちや考えに関心をもち、積極的に話を聴くということです。

●重要なのは、一人一人の考えが異なることを前提として、**先入観をもたずに聴く**ことです。

●**相手を尊重し、悩みや価値観、進みたい方向性を理解しようとする姿勢**で臨みます。例えば、話の途中で原因を 追及したり、評価したり、否定したりせずに聴き、分からないことは教えてもらうということが大切です。

<傾聴のメリット>

●**相手が安心して話すことができると、話を聞いてもらえたことで信頼感が生まれます。信頼関係が築けると、働きやすさの向上につながります。**

●**例えば、困った時に気軽に相談できたり、業務の課題点を率直に共有できるようになります。また、組織の風通しが良くなり、情報共有の機会が増えることで業務改善にもつながります。**